

① さぎり消ゆる みなとえの

舟に白し 朝の霜

ただ水鳥の 声はして

いまだ覚めず 岸の家

② からす鳴きて 木に高く

人は畑に 麦を踏む

げに小春日の のどけしや

かえり咲きの 花も見ゆ